

2023 年 9 月 13 日

生成 AI(ChatGPT など)の使用についての基本方針

学生の皆様へ

松山東雲女子大学
松山東雲短期大学

AI 技術の発展は、われわれの様々な生活領域に数えきれない影響を与えると考えられています。松山東雲女子大学・短期大学では、現在話題となっている生成 AI の活用について、以下のことがらに留意することを学生に求めます。

【生成 AI の利用】

生成 AI は、確かに学生個々の要求するところに応じて、課題をカスタマイズしてくれる便利なツールです。たとえば、生成 AI を活用すれば、思いもよらなかったアイデアを引き出すことができますが、これは、ブレインストーミングを生成 AI に肩代わりさせていることになります。つまり複数人で行うブレインストーミングも、生成 AI があれば一人でできることになるわけです。また、自分の意見とは反対の意見を出力させることで、自分の意見と想定される反論との比較考量が容易に行えるようになります。こうしたこともあって、教育の場における生成 AI の活用は、独学をサポートするものとして有益だと言われています。ただそこでベースとなっているのが、大量に収集されたデータであることに注意が必要です。以下に生成 AI の利用に関する問題点とその対応を列挙します。

① 情報の偏り

生成 AI は、収集されたデータをユーザーの要求に対応したものへと変換するわけですが、そこで集められたデータに偏りがあった場合、その偏りが反映されたものが出力されることになります。ユーザはその偏りを意識し、独自の判断と比較検討を行う必要があります。

② 情報の不確実性

生成 AI は、誤った情報や真偽が確認されていない情報を提供することがあり、不確実で信憑性に欠ける内容が出力されることがあります。ユーザは出力を批判的に評価し、信頼性を確認することが重要です。

③ 著作権と法的問題

生成 AI が収集するデータには、著作権が含まれるものが嵌入している可能性もあり、迂闊な使用が著作権侵害に抵触してしまうことも大いに想定できます。つまり、著作権者の許諾を必ず得る必要があるものが、予期せ

ぬ形で出力されかねないのです。出力されたものに許可が必要かどうかにも留意し、自ら確認・検証することが求められます。

④ プライバシーの侵害と情報漏洩

入力に際しても、不用意に個人情報を入力すれば、自らの情報が生成 AI に蓄積され、それが第三者の回答に含まれることで拡散する危険があることを忘れないようにしましょう。また当然ながらそうした拡散の危険は SNS などによる発信にも言えることですが、個人的な情報に限ったことではなく、学内、実習先、アルバイト先、就職内定先などにおける、外部に漏れては困る情報に対しても言えることです。生成 AI に入力した情報が、思いもよらぬ重大な情報漏洩にも繋がりがねないことも忘れないでください。ユーザは個人情報を慎重に扱い、必要以上の情報を入力しないようにする必要があります。

生成 AI の使用に際しては、その特性をよく見極め、特に以上の 4 つの留意点に対して十分に配慮することが求められます。

【授業・試験など】

授業における利用は、各授業担当者の指示にしたがってください。なお、定期試験、レポートなどで生成 AI から得られた情報のみによって提出物を作成することは、主体的に学ぶという大学教育の目的に反するものであるため、これを認めません。また、生成 AI の使用を伏せて成果物を提出することは、他人の文章を自分の文章であるかのように提出する「剽窃・盗用」行為と同等のものと見なされることもありますので、よく留意するとともに、各授業担当者の判断を仰いでください。

生成 AI も上手く活用すれば、われわれの知的活動の進展に寄与するものともなります。ただ、いまだ信頼性に疑わしさが残り、無制限な使用に倫理上の問題があるなど、その使用に関しては課題が積み残されたままです。

学生の皆さんが生成 AI を使用するに際しては、上記の留意点を十分に理解した上で、良識ある利用がなされることを期待します。

生成 AI 技術の進展には目を見張るものがあり、国の対応、それに応じた社会の態勢なども刻々と変化してゆきます。それらの変化に適切に対応して、ここで挙げた本学の方針についても、随時改訂してゆくことになります。